



# 津波警報・注意報



津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。その後「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

マグニチュード8を超える巨大地震の場合

「巨大」という言葉を使用した大津波警報で、非常事態であることを伝えます

マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐに把握できないため、その海域における最大級の津波を想定して、大津波警報や津波警報を発表します。これによって津波の高さを小さく予想することを防ぐ。

この時最初の津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」、「高い」という言葉で発表し非常事態であることを伝えます。

テレビやラジオなどで「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、最大クラスの津波が来ると判断し、ただちにより高い場所に避難しましょう。

正確な地震の規模が分かった場合

予想される津波の高さを、1m、3m、5m、10m、10m超の5段階で発表します。

これまで8段階で発表していた予想される津波の高さについて、被害との関係や、予想される高さがおおきいほど誤差が大きくなることを踏まえ、5段階に集約。

津波警報等の発表には、各区分の高い方の値を、予想される津波の高さとして発表します。

	予想される津波の高さ	
	高さの区分	発表される値
大津波警報	10m ~	10m超
	5m ~ 10m	10m
	3m ~ 5m	5m
津波警報	1m ~ 3m	3m
津波注意報	20cm ~ 1m	1m

例：3mから5mの間の津波が予想されたら「予想される津波の高さは5m」と発表します。

「津波警報が変わりました」気象庁発刊PFより